

議会だより

2023.7.27

No. 198

山梨県昭和町議会

<https://www.town.showa.yamanashi.jp/site/gikai/>



しょうわ



表紙写真

大人同士の真剣なやりとりに少し緊張…

●表題(しょうわ)については「押原中学校 3年5組 河田 実侑(かわたみゆ)さん」の直筆です。

押原小学校6年生が議会を傍聴

② はじめての議会見学

⑤ ほたるんのピックアップ

⑧ 一般質問 ここが聞きたい

⑬ 追跡 あの質問はどうなった



6月議会定例会の初日となる6月5日(月)の午後1時30分から本会議場で一般質問が行われ、5人の議員が登壇して町長・教育長に対して町の考えを聞きました。

今回の一般質問には押原小学校の6年生と引率の先生合わせて57名が傍聴に来られ、議員と当局のやり取りを真剣に聴いていました。

議会をはじめて見学した児童の皆さんに感想をいただきましたので、その一部をご紹介します。

議会を見学した感想



いとう あおい
伊藤葵衣さん

町議会見学をして、実際に内容を聞くと、自分たちの生活に関わっていて、このようにして町のことが決められていることを知りました。議会で話し合ったことで、将来もっと良い町になることが増えていくのかもしれないなと思いました。



みずの かいせい
水野開誠さん

ぼくは、町議会をみて、学校関係のことは教育委員会と協力していることがわかりました。また、町民のニーズに応えているところが社会科で学習した通りで良かったです。議員が一人ずつ質問し、それにきちんと答えている事におどろきました。



のざわ そういち
野澤聡一さん

町議会見学では、昭和町長をはじめ、議長、議員、役場の方もたくさん座っていました。議員の人の質問事項も、自分たちの暮らしに関わることで、興味深かったです。よりよい昭和町になるように話し合いが行われていることを知りました。



なんば けい
難波花衣さん

町議会を見学して、予算や優先順位等を考えて私達が暮らしやすい町にするために真剣に決めてくれていることがわかりました。私達の話し合いとはちがって、質問をたくさんしていたこと、それにきちんと答えていた事がすごかったです。



こばやし ふみ
小林ふみさん

町議会では、議員の人たちが、安全で健康に暮らせるように、いろいろな対策をしっかりと考えていました。1つのことに、とても時間をかけて丁寧に話し合っていて、町の人のために頑張ってくれているということがよくわかりました。



たけい きよと
武井聖門さん

ぼくは、町議会を見学して、みんなが安心して過ごせるために話し合いがされていることに気がきました。社会科で日本国憲法はみんなが平和に過ごせるためにあるのだと学んだので、社会科で学んだこととつながっていると感じました。

ほたるんのピックアップ!

このコーナーでは、ほくが注目する町の事業について紹介していくよ。
今回は、5月臨時会と6月定例会で承認・可決された令和5年度一般会計補正予算の中から、塩澤町長の政策(4本の柱)に沿ったものを紹介するよ。

3月議会で可決された当初予算は骨格予算※だったから、
いよいよ今回から町長の政策が反映された事業が出てくるね。

そうだね。町長の政策ごとに注目事業の内容をまとめてみたよ。
身近なものもあるから見てみてね。

※骨格予算…新規事業などの「政策的経費」を抑えて、人件費などの「事務的経費」を中心に組まれた予算

教育環境の充実

●移動式バスケットゴール購入費 810万円

総合体育館内に設置してあるものが25年経過して可動部に不具合が生じたため購入するもの

●スポーツ選手強化奨励金 50万円

JOC・JPC等の認定を受けている町内在住のスポーツ選手に対し、
国際大会等に出場する際の費用負担を軽減するための奨励金

その他…部活動地域移行事業業務委託料 250万円 など



社会福祉の充実

●電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金 5700万円

住民税非課税世帯等(生活困窮世帯等)に対して、1世帯あたり3万円の現金を給付するもの

●母子手帳アプリ導入等業務委託料 253万円

母子手帳交付や健診等の予約、予防接種のスケジュール管理等ができるアプリ

その他…医療用ウィッグ・乳房補正具購入費用助成事業 80万円 など



地域経済の発展

●農業用資材等物価高騰対策事業補助金 380万円

町内の農業者等に対して資材購入費の一部を補助するもの
認定農業者は上限20万円、農業出荷者は上限10万円

その他…運送事業者等燃料価格高騰対策事業補助金 3590万円 など



安全・安心なまちづくり

●防犯カメラ設置工事 150万円

通学路など町内3箇所に設置予定

●工事調査設計委託料 380万円

町道30号線(押越区シャトレーゼ横)と町道364号線(西条一区アオキ横)の交差点改良調査

その他…交通安全対策ヘルメット購入補助金 40万円 など



5月臨時会で決まったこと



令和5年5月臨時会は、5月8日から11日の4日間の会期で開催しました。

承認関係10案件、令和5年度一般会計補正予算関係1案件、人事関係1案件の計12案件を審議しました。

詳細は7月末更新予定のHPの会議録をご覧ください

※小林耐三議員は議長のため、裁決には加わっていません。

案件名	内容	審議結果
専決処分の承認を求める件(昭和町税条例中改正の件)	地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う条例改正	承認
専決処分の承認を求める件(昭和町国民健康保険条例中改正の件)	地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う条例改正	承認
専決処分の承認を求める件(昭和町介護保険条例中改正の件)	厚生労働省から通知された介護保険料の減免に対する財政支援の取扱いに基づく条例改正	承認
専決処分の承認を求める件(令和4年度昭和町一般会計及び特別会計補正予算(6案件))	令和4年度の一般会計、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、下水道事業、及び湧水対策事業特別会計補正予算	承認
専決処分の承認を求める件(令和5年度昭和町一般会計補正予算)	食費等の物価高騰の影響を受けている低所得の子育て世帯に対する低所得子育て世帯生活支援特別給付金の支給に伴う歳入歳出の増額補正	承認
令和5年度昭和町一般会計補正予算	エネルギー・食料価格等の物価高騰の影響による町内事業者の支援と新型コロナワクチン集団接種に伴う歳入歳出の増額補正	可決
昭和町監査委員の選任	任期満了に伴う監査委員の選任 海野 豊 氏(新任)	同意

6月定例会で決まったこと



令和5年6月定例会は、6月5日から6月13日まで9日間の会期で開催しました。契約関係1案件、条例関係2案件、令和5年度一般会計及び特別会計補正予算関係2案件、人事関係3案件、委提1案件、その他1案件の計10案件を審議しました。

詳細は8月末更新予定のHPの会議録をご覧ください

※小林耐三議員は議長のため、裁決には加わっていません。

案件名	内容	審議結果
昭和町立押原中学校増築工事請負契約締結の件	押原中学校校舎の増築工事請負業者との契約	可決
昭和町印鑑条例中改正の件	個人番号カードの利便性の抜本的向上を目的に、個人番号カードの電子証明書をスマートフォン(移動端末設備)へ登録することに伴う条例改正	可決
昭和町税条例中改正の件	地方税法等の一部を改正する法律が施行されたことに伴う条例改正	可決
町道路線の認定及び終点の変更の件	町道753号線から町道765号線までの町道認定及び町道59、141、143号線の終点の変更	可決
令和5年度昭和町一般会計補正予算	歳入では新型コロナワクチン接種事業に伴う国庫負担金及び補助金などの増額補正。歳出では(仮称)商工振興センター移転改修工事や価格高騰重点支援事業に係る経費及び給付金などの増額補正	可決
令和5年度昭和町介護サービス特別会計補正予算	地域包括支援センター職員の人事異動に伴う歳入歳出の増額補正	可決
昭和町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例中改正の件	地方分権対策特別委員会及び水源対策特別委員会を廃止したことにより特別委員長への手当の規定を削除することに伴う条例改正	可決
昭和町公平委員会委員の選任	前任者退任に伴う公平委員会委員の選任 花形 敏男 氏(新任)	同意
昭和町固定資産評価審査委員会委員の選任	任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員の選任 保坂 武彦 氏(再任)	同意
昭和町教育委員会委員の任命	前任者退任に伴う教育委員会委員の任命 鮎川 哲 氏(新任)	同意

産業厚生常任委員会

補助制度の対象者は

長田委員 農景観整備事業でレンゲとコスモスの種購入の補助を行い、生分解性マルチ普及事業で購入補助をするとのことだが、これらはどのような方が対象か。一般の方でも申請できるのか。

環境経済課長 現在、どちらでも農作物の出荷をしている方や、認定農業者であることを申請条件としている。

しかし、種購入の補助については農景観整備が目なので柔軟に対応する。また、マルチ購入補助についても意見を聞く中で対象者の検討をしていく。

資源ボックスの利用方法は

河住議員 小学校3校へペットボトル用の資源回収ボックスを設置するとのことだがどのように利用するのか。

環境経済課長 環境教育を目的としており、児童が家庭からペットボトルやその他プラを持参し、ボックスに入れることを考えている。



資源回収ボックス(イメージ)

空き瓶収集方法の改善を

今澤委員 各区の公会堂等に設置されている空き瓶回収ボックスについて、早朝や夜中に入れに来る人もおり、瓶が割れて大きな音が出ることから苦情のもととなっている。住宅地や苦情のある箇所だけでも対策を検討できないか。

環境経済課長 モラルの問題でもあり、対応には限界がある。また、収集場所を検討するにしても各区で決めてもらっていることなので難しい。

収集業者や環境保健委員等の意見も聞き、改善に向けて検討していく。

带状疱疹ワクチンの助成は

永井委員 带状疱疹は

子どもの頃に水疱瘡にかかった人の約3割が発症すると言われているが、このワクチン費用の助成を行ってはどうか。

いきいき健康課長 現在、带状疱疹のワクチンは任意のワクチンとして50歳以上の方が接種対象になっているが、国においても定期接種化への議論が始まっているため、国の動向を見つつ検討していく。

手話言語条例の制定は

保坂委員 県議会では今年3月に「手話言語条例」が施行された。本町においても手話言語の理解・普及・学びのためにも条例制定を行ってはどうか。

福祉介護課長 県で制定された条例の中には、県が県内の自治体と連携



手話マーク

して、手話言語を使用しやすい環境を整備することが謳われている。

本町では聴覚障害者への支援として、手話通訳士の派遣や手話奉仕員養成講座の開催を行っているが、まずは県の手話言語条例の趣旨にのっとり、聴覚障害者支援や町民への手話言語の理解・普及のための施策の推進を考慮しており、その中で本町独自で条例制定を進めていくのかを検討していく。

総務教育常任委員会

商工会を候補とする訳は

小林委員 商工振興センターの設置にあたり、商工会を指定管理者の候補として協議を進めるとあるが具体的な説明を。

総務課長 町では、さらなる商工業の発展のため、地域経済活性化の拠点となる商工振興センターを設置したいと考えている。

センターの運営については、現在、役場では商工業に関する事務は環境経済課農政係が兼務し、専門部署はないことから、専門的な知識とノウハウがある商工会を指定管理者として委託する方向で協議を進めており、今後、経営相談・支援等を充実させ、本町の商工業を発展させていきたいと考えている。

子育て支援センター設置は

野沢委員 山梨中銀跡地の購入目的は子育て支援センター設置であったはずだが、商工振興センターとするのであれば子育て支援センターの設置はどうなるのか。

総務課長 当初、山梨中銀跡地は未満児とその保護者が集まり、保育士や保健師が相談に乗れるような事業展開を進めていたが、建物内にアスベストが確認されたことから、計画が中断してしまった。

その後、アスベストは適切に除去したが、その間に近隣の市町では子どもを遊ばせるプレイルームを兼ね備えた面積の広い子育て支援センターが設置されたことから、本町でも

計画の見直しを行なった。相談業務については、今年度「こども家庭センター準備室」を立ち上げ、令和6年4月の「子ども家庭センター」設置に向けて準備を進めている。

今後、遊び場も含めた子育て支援センターについて、公共施設の再編計画の中で検討していく。

公民館利用者への周知は

海野委員 中央公民館は耐震性に問題があると言われているが、施設を利用している各種団体と開催場所変更などの話合いをしているのか。

生涯学習課長 令和3年度から毎年、中央公民館を利用する全ての団体に中央公民館の状況と他の町内施設の案内を通知している。これにより開催場所を変更した団体もあ

るが、現在も中央公民館を利用している団体は現状を承知して頂いた上で利用されている。今後も公共施設の再編計画に従い会場の変更等に対応していく。

部活動地域移行の委託料は

植竹委員 部活動の地域移行についての委託料とは。

生涯学習課長 キャンプアにコーディネーターを委託するための費用。地域移行に向けた詳細な内容はこれから進めていく。

LINEのPRと運用は

井口委員 町の公式LINEのPRをホームページや役場窓口で行ってはどうか。

また、自然災害発生時の警報などの情報発信が公式LINEを通じて

きると思うが、これらの運用をどう考えているか。

企画財政課長 町の公式LINEは令和5年4月から運用を開始し、現在の登録者数は約250名。4月と6月に町広報誌でQRコードの掲載をしたが、今後もPRしていきたい。

また、運用について災害情報は一斉送信すべきだと思うが、他にどのような情報を掲載することが良いのかを検討している段階。今後、町民が便利と感じる機能を充実させていきたい。



LINEアプリを起動して、読み取ってください。

昭和町公式LINEのQRコード



Q

みんなが元気で安心して暮らせる地域へ

A

「みんなが元気で安心して暮らせるまち」の実現に向け、様々な団体と協力しながら社会福祉の充実に努めていく。



いまざわ ひろまさ 今澤 幸広 議員

今澤 高齢化が進む現状において、要介護状態となっても住み慣れた地域で安心して住み続けられるまちづくりのためには、近所の見守りや支え合いが大切であり、従来の行政主導の支援体制から地域住民主体の体制への変化が重要である。

本町では地域住民が主体となつて行う生活支援体制整備事業として、社会福祉協議会に「生活支援コーディネーター」を委託し、支え合いのまちづくりを推進しているが、本町の生活支援体制整備事業について

町長 町では、支え合いの地域づくり、まちづくりの実現を目指して、生活支援体制整備事業の取り組みを令和2年7月から進めている。事業の推進体制として町と社会福祉協議会が連携し、協議組織を立ち上げ運用していくのだが、現在、社会福祉協議会に生活支援コーディネーターを委託し、組織づくりを行っているところだ。

また、地域が主体となり、地域全体で高齢者の生活を支えるため、同年8月に、飯喰区の「支え愛の一心助け隊」令和3年12月に「誰でも気軽に集まれる立ち寄りどころ」として上河東二区に「やまびこカフェ」が設立された。

そして、令和4年11月には「地域における支え合い」をテーマとして、「支え合いのまちづくりフォーラム」を開催し、生活支援体制整備事業について周知活

動を実施したところだ。その後のアンケートにおいて、支え合いのまちづくりを一緒に考えていきたいと回答した22名に協力してもらい、西条、押原、常永の小学校区ごとで協議組織を結成した。

この組織では、毎月、住み慣れた地域で末長く暮らすための地域のあり方について検討し、その成果を11月開催予定のフォーラムの中で発表することとなっている。

次に、この活動を進める上での課題だが、まず、この活動は、やはり地域住民が主体となつて行う活動であり、地域での支え合い、助け合いの必要性を住民の一人ひとりの意識にひろく定着させることが不可欠であると考えている。

さらに、より多くの組織等が関わることで、地域の支え合いの強化につながることから、みんなが元気で暮らせるように一緒に考える組織の構築が求められる。そのためにも、協議組織



てっ、きれいにまったじゃん

がら、社会福祉協議会とも連携し、引き続き、支え合いのまちづくりを推進していく。

私が町政運営の軸として掲げた「四本の柱」の一つに「社会福祉の充実」がある。

「人生百年時代」を迎え、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるため、これまでも様々な取り組みを進めてきたが、「みんなが元気で安心して暮らせるまち」の実現に向け、これからも様々な団体の皆様に協力をしてもらいながら、社会福祉の充実に努めていく。

Q

給食費無償化を5年から10年を目途に実施してはどうか？

A

国の動向を注視しながら、町の課題として取り組んでいく。



かわすみ やすしげ 河住 保茂 議員

河住 本町では、学校給食費に對して助成を行っているが、県内の町村で給食費の無償化をしていない自治体は、本町の他に2自治体だけである。

現在、給食の材料価格の高騰や公共施設等の改修のため、財政状況が厳しいことは承知しており、給食費無償化の即時実施は困難だと思いが、5年から10年を目途に実施を検討してはどうか。

教育長 給食費の無償化は、県内の市町村では、郡内及び峡

南地域を中心に行われているが、本町の場合、町の施策として助成を行ってきたことにより、無償化を除く市町村としては、最も安価となっている。

さらに、就学援助費受給世帯や、小中学校に通う第3子目以降の児童生徒は全額助成をしているほか、コロナ禍、子育て世帯の支援策として無償化を実施してきた。

本町の学校給食センターは、県内に誇る施設であり、手づくりで献立や仕入れ、調理方法を工夫しながら、安全・安心で、栄養価、質量ともに、バランスの取れたおいしい給食の提供とともに、アレルギーの児童生徒への代替食等、きめ細かな対応を行っている。

教育委員会としては、原材料価格高騰分は、令和4年度に続き、令和5年度も町の負担としているので、給食費の無償化については、今後、国の動向を注視しながら、町の取り組み課題として位置付けていきたい。

町長 町では、これまで保護者の負担の軽減を図る副食費への助成事業を行ったほか、昨年度、食材料費等の増大を防ぐために実施した「保育園等事業運営支援金」について、今定例会で補正予算を計上し、今年度も支援を継続していきたいと考えている。

さらに、令和5年第1回臨時会において承認いただいた、エネルギー価格高騰の影響を受けている保育園、子ども園等に對し「児童福祉施設等エネルギー価格高騰対策支援事業」を実施し、燃料費等の高騰による保護者への経済的負担軽減、及び安定的な施設運営を図れるよう、現在、担当課において速やかに事務を進めている。

副食費の無償化についても、県内の自治体において実施している事は認識している。

また、子育て環境の充実を図る一つの方法であると思うが、本町の保育園、こども園は、民間運営による施設であるため、副食費は園により異なる状況であり、無償化については、今後も、調査、研究を行っていく必要があると考えているので、国の動向を見ながら学校給食費の無償化と同様、町の取り組み課題として位置付けていきたい。

Q

副食費の無償化は考えているか。

A

給食費の無償化と同様に町の課題として取り組んでいく

河住

本町では、小・中学校の給食費以外に幼稚園・保育園に對しても副食費の助成を行っているが、子育てをする保護者の立場からすると小・中学生も幼稚園・保育園児も区別なく負担が生じる。そこで、副食費の無償化について町長の考えを聞きたい。

また、子育て環境の充実を図る一つの方法であると思うが、本町の保育園、こども園は、民間運営による施設であるため、副食費は園により異なる状況であり、無償化については、今後も、調査、研究を行っていく必要があると考えているので、国の動向を見ながら学校給食費の無償化と同様、町の取り組み課題として位置付けていきたい。



野沢 敬夫 議員

Q 小学校の体育館にエアコンの設置を

A 設置の必要性は理解しているが、町の財政状況や他事業との優先順位などを考慮しながら検討していく。

野沢

授業時の猛暑対策や災害時の避難所としての利用を想定すると小学校の体育館へのエアコン設備は必要と考える。

国においても体育館にエアコンを設置する際の国庫補助率を従来より引き上げることなので、この機会に設置すべきではないか。

教育長

現在町内3小学校の体育館にエアコンの設置はないが、暑い時期に体育館を使う際は、指標計を用いて、事前に暑さ指数を確認し、

暑さ指数が一定の数値を超える時は、スポットクーラーの活用やエアコンの効いた多目的スペースへ場所を移すなど工夫をし、子どもたちが快適に過ごせる環境づくりに努めている。

また、スポットクーラーは避難所利用を想定した場合でも、暑さをしのぐ有効的な手段になりえる。エアコン設置の必要性は理解しているが、町の財政状況や現在計画されている他の公共施設整備事業との優先順位、体育館の長寿命化に係る課題などを考慮しながら検討していく。

Q 後期高齢者の人間ドックへの費用補助は？

A 個別センター健診を推進し対応していく

野沢

本町の人間ドックの費用補助は74歳をもって打ち切りとなっているが、近隣の自治体では、後期高齢者を対象に費用補助を行っている。

Q 自治会加入促進のためにクーポン券配布を

A 本町の状況に適した方策について、区長会と検討を進めていく。

長田



長田 信夫 議員

自治会(区)は町民同士の親睦などを通して、住みよいまちづくりを進める中心的な役割を担っているが、価値観やライフスタイルの変化から自治会に加入しない人が増え、活動に支障をきたすことが多くなっている。

そこで他の自治体では自治会加入世帯にクーポン券を配布し加入促進を図っているが、本町でも実施してはどうか。

また、いーなとうぶ昭和で使えるクーポン券にし、いーなとうぶ昭和の売り上げを増やすことで、農作物

生産者が支払う販売委託手数料を減額するよう、いーなとうぶ昭和に要望してはどうか。

町長

自治会加入率の減少は、現在では、全国の多くの自治体が抱えている課題であり、これまで議会定例会の一般質問においても、「自治会加入の促進策」、「町が区に委託する業務のスリム化」、「地域コミュニティへの支援」等の質問、提案があった。

町ではこれまで、自治会加入の促進等の課題に対して、この4月の区長会でも出た意見も踏まえ、現在、地域の役員のなり手不足の課題を解消するための取り組みや未加入世帯への加入を呼びかける際に活用できる「自治会加入の手引き」の作成など、区長会と協議、検討を進めているところだ。

「自治会への加入促進を図るため、クーポン券を配布する取り組み」についてだが、こういった事業を実施している自治体の情報、

効果などを調査、研究するとともに、自治会が主体となり実施した加入促進事業への支援を、自治体が行っているという事例もあることから、本町の状況に適した方策について、引き続き区長会と検討を進めていく。

なお、JA山梨みらいでは、どの生産者においても販売委託手数料は一律となっており、本町がクーポン券を配布し、たとえ売り上げが伸びたとしても、本町の生産者のみ免除等することはできないとのことなので、引き続き、今後の農業形態を注視し、検討していく。



いーなとうぶ昭和

人生百年時代に向け、より健康的な日々を送るためにも人間ドックの費用補助の対象年齢を見直してはどうか。

町長

本町の健診制度の1つである「個別センター健診」は、令和2年度に創設され、町民のライフスタイルや受診歴等に合わせて、受診時期、日時、受診項目が選択でき、精度の高い機器を使用した検査である。

さらには年齢の上限がなく、人間ドック希望者の一番の理由である胃カメラ検査が受診できるなど、人間ドックとそん色ないものとなっている。

その利便性や検査レベルの高さから、制度創設以来、毎年定員を上回る申し込みがある。

町としては、この個別センター健診を「後期高齢者版人間ドック」として、集団健診と併せ、後期高齢者に利用を促し、町民の皆様健康寿命の延伸に努めていく。

Q 通学路における危険箇所の把握と安全対策は？

A 安心な通学路を目標し、検討と対策を講じていく

野沢

通学路については町や警察、教育委員会等が合同で点検・対策を講じているが、町内の危険箇所及び対策の未完了箇所の状況は、

また、町と警察で整備を進めているゾーン30の整備前の緊急対応として、通学時間は通学路に車両が進入できないよう対策を講じられないか。

教育長

通学路の安全対策としては、毎年、各学校から通学路や地域の危険箇所の改善要望をあげて頂き、国や県の道路管理者等、多数の関係機関で組織する「昭和町通学路安全推進会議」で現地調査を行った上で対策を講じており、これまでに信号機や通学路の変更等を



通学路合同点検

行ってきた。

また、令和3年7月に教育委員会が実施した点検では、危険箇所が13箇所あり、そのうち12箇所についてはすでに対策を講じており、残りの1箇所については今後対策を講じていく。

時間帯による侵入禁止規制については、規制範囲が限定的であるなどの課題があるため、町内3小学校の周辺区域に最高速度を時速30キロメートルに制限する「ゾーン30」を設定し、安全確保に努めている。

引き続き、児童生徒への安全指導の徹底とともに、安全で安心な通学路を目指し、「昭和町通学路安全推進会議」等で協議、検討し対策を講じていく。

「議会だより しょうわ」を 読んでみて

モニターさんからの意見集



昭和町議会では、議会モニターのみなさんに議会だよりに関するアンケートへご協力をいただいています。今回は、「議会だより しょうわNo.197」について、議会モニターのみなさんから頂いた貴重なご意見等をいくつかご紹介させていただきます。

議会だよりしょうわNo.197について、こんな意見をいただきました。(一部掲載)

「令和5年度予算・町長所信表明」について

●令和5年度における一般会計の歳出入の内訳がわかりやすく表現され、その中でも注目する点が「押原中学校の改修・増築工事」であることがタイトルとして大きく記載されており、わかりやすくよかった。

●円グラフが見やすかった。

「みんなの生活を支える町の予算」について

●年代別で予算が何に使われているのかがわかりやすく表現されておりとても良かった。また、町長の所信表明にあった「掲げる四本柱」が予算の使われ方とマッチしているのがよくよかった。

●令和5年度予算を見るにあたり、「議員はココを見る!」や「はたるんに聞いてみよう!」のコーナーを参考にしてみるのもいいと思った。

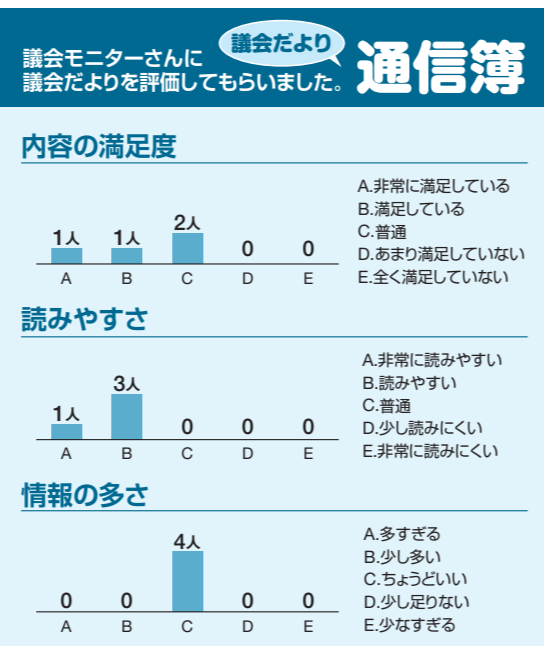
「一般質問(地域コミュニティ担い手不足への対応/海野議員)」について

●当地区も近年、区長をはじめ常設役員の選出を各組の輪番制にした。区長交代時の役員探しが大変と思っているため関心を持った。

その他

●若い働き盛りの人(中高生も含む)に興味のある記事を掲載した方がいい。

●少しマンネリ化している気がする。



追跡

あの質問はどうなった?

議員の質問に、町当局がその後どのように対応し、どうなっているかを追跡・検証してみました。

追跡

食品値上げの学校給食への影響と対応は

令和4年6月議会
石原 政信 議員

国際的な社会情勢等による影響から、令和4年には約6,000品目にも及ぶ食品が値上げするとされている。学校給食への影響や保護者及び町への負担についてどのように対応するのか。

原材料価格の高騰に伴って食材価格が高騰する中、学校においては献立や仕入れ、調理方法等を工夫しながら、栄養価、質、量を維持しバランスのとれたおいしい給食の提供に努めているが、給食センターの材料費への影響は避けられない。教育委員会としては食材価格の動向を注視し、必要に応じて価格高騰分を補填していく。また、コロナ禍の現時点においては価格を維持し、保護者の負担増となる給食費改定は考えていない。



おいしい給食

こうなった

学校給食費の原材料価格高騰分は令和4年度に引き続き、令和5年度も町が負担しており、保護者の負担額は増えていない。

Q 高齢者等の移動手段に 新たな公共交通の構築を

A 最適な移動手段の構築に向け
調査、研究を進めていく



ながい としお 議員
永井 敏男

高齢化が進む中、運転免許返納者や高齢者、障害者等の交通弱者・買い物弱者にとって、生活の足となる移動手段の確保は喫緊の課題であり、町の第6次総合計画には、専用アプリや電話で予約を取ること、町内のショッピングセンターや病院、公共施設等へ送迎してくれる公共交通システム「デマンドタクシー」の整備・運営の検討が掲げられている。

デマンドタクシーの検討を早急にすべきだと思いが、町長の考えを聞きたい。

本町ではこれまで、高齢者の移動手段の確保について検討・実施しており、平成14年には「町内買物バス」を試行的に運行したが、利用者が少なく本格導入には至らなかった。

この他にも総合会館の温泉を利用するための町内巡回温泉バスや、最近では、コロナワクチンの集団接種会場への移動手段として乗合タクシー制度を構築し、運用したところだ。

デマンドタクシー制度の導入には、システム構築や車両整備などの初期経費や運用、制度維持に係る予算が必要となり、利便性が高い制度でないと多くの利用者が見込めず、その事業維持は困難になる。

福祉タクシー券の支給を要望する声もあるので、最適な移動手段の構築に向け、他市町村の公共交通政策や支援策などについても調査、研究を進める中で、本町に適した制度の導入に向け、今年度中には方向性を示したい。

町長

安心して子育てができる拠点施設の整備を町の子育て事情に即した施設の整備を進めていく

永井

全国的に子どもの出生数が減少する中、政府は「こども家庭庁」を発足し、異次元の少子化対策を宣言した。

本町では現状、子どもの数は増加傾向だが、子育て世代からは「子育て支援センター」の施設整備が要望されている。

また、町長の公約や本町の第6次総合計画でも子育て支援の拠点整備については触れられている。

町の未来を担う子どもたちのためにも「子育て支援センター」の整備は急務であると思うが、町長の考えを聞きたい。

町長

本町では、これまで「子

育て支援センター」の早期設置に向け、元山梨中央銀行昭和支店を取得し、センターとして活用すべく準備を進めていたが、整備を進める間、県内の自治体では、様々な機能を有した「子育て支援センター」が設置され、本町においても、対象児の拡大、並びに、より充実した施設とすべく、元山梨中央銀行昭和支店の建物を活用する当初の利用計画を見直す必要があると判断した。

現在、公共施設の再編計画を進めており、「子育て支援センター」についても、改めて方向性を検討しているところであり、今後も先進的施設の情報収集と、有識者や利用される子育て世代の方の意見を聞きながら、昭和町の子育て事情に即した魅力ある「子育て支援センター」を目指して、整備を進めていく。

私たちがしっかり見ました



議会選出監査委員
うみの 豊



代表監査委員
こばやし 一

議会選出監査委員が変わりました

4月29日の任期満了をもって林和仁議員が議会選出監査委員を退任し、5月11日の令和5年第1回臨時会において、議会の議決を得て新たに海野豊議員が議会選出監査委員に就任しました。

監査委員とは

監査委員とは、地方自治法で設置が義務付けられており、自治体が行う事業において、お金に適正に使われているかを調査する機関です。

今回は令和4年3月から5月に行われた例月現金出納検査(検査対象は令和4年度2月、3月、4月分及び令和5年度4月分)において、監査委員から会計管理者(出納室長)へされた質疑の一部を掲載します。

例月現金出納検査

〔令和4年度2月分〕

委員：西条小学校キュービクル改修は増築工事で電気の使用量が多くなったため修理が必要になったのか。

管理者：13年程経過した中で、業者が定期点検をしたところ劣化している部品があるとの指摘があり、修理が必要になった。今後は他の学校も順次行なっていく予定。

〔令和4年度3月分〕

委員：国庫支出金過年度収入の障害者自立支援給付費過年度収入と障害児入所及び障害児入所過年度収入だが、当初予算で予算計上は行わなかったのか。

管理者：3月に収入額が確定するため、当初予算時には0円となっていた。確定後、9月に補正を行う予定。

また、雑入に予算計上となっているのは、すでに事業の実施年度が経過しており、新たな年度での事業の経費に充てることができないため。

特定財源として国庫支出金に歳入する実益がないものについては、財務会計上、雑入で収入しても差し支えないことになっている。

委員：通学路の交通安全対策工事を行っているが、工事箇所はどのように決めているのか。

管理者：毎年学校の引き渡し訓練の際に親子で通学路を歩いてもらい、気になった箇所を学校を通じて報告してもらっている。その後、各学校の校長・教頭、PTA代表、

道路管理者及び警察等で現場を確認し、対応を決めている。

また、各地区からも土木委員を通じて担当課に要望を出してもらおう中で協議し決めている。

〔令和4年度4月分〕

委員：各会計の不納欠損の内容はどのようなものがあるのか。

管理者：死亡や生活困窮者、また県外や外国に行ってしまう徴収できなかったものが主なものである。

委員：町民カード再発行手数料を徴収しているが、マイナンバーカードが普及し始めている現在、町民カードも必要なのか。

管理者：マイナンバーカードを持っている方は庁舎ロビーにあるマルチコピー機で印鑑登録証明書や住民票等を取ることができ、

一方、マイナンバーカードを持っていない方が印鑑登録証明書を取得するためには窓口で町民カードを提示する必要があるが、町民カードがないと印鑑登録証明書は発行できない。

〔令和5年度4月分〕
委員：各会計にある滞納繰越分の当初予算の計上方法は、

管理者：令和2年度以前の繰越予定額と令和3年度の繰越予定額の合計を調定額として算出し、過去3年間の徴収率の平均値を掛けて予算計上している。

多く予算計上してしまうと、予算額より少ない収入だった場合、事業執行が難しくなるため、収入と支出のバランスを考慮して予算計上している。

議会クイズ

次の問いに教えてください。

Q ○○小学校の6年生が
昭和町議会を見学

正解者の中から抽選で5名の方に図書カードをお送りいたします。

ヒント
No.198
(この号)を
読んでください



No.197に
対する

こんなご意見をいただきました!

教育関係のところを毎回読んでます。社会人1年目、昭和町でスタートしました!
メールにて(22歳・女性)

選挙も終わって、新たな議員さんでの活躍を楽しみにしています。
メールにて(63歳・女性)

昭和町の良さをさらに感じました。
メールにて(35歳・女性)

詳しく、わかりやすい記事ありがとうございます。
メールにて(45歳・女性)

13ページ、がん患者への医療用ウィッグの補助についての記事を読みました。私は円板状エリテマトーデスという病の治療をしています。私の場合は頭皮にこの病気があらわれ、今も髪が抜け続けている状況です。治療には短くても10年以上かかり、髪はおそらく生涯生えてこないと言われてます。私の病気以外にも脱毛を伴う病はあり、もし補助が実現するのであれば、がん患者だけでなく、他の病に悩む人達にも支援していただきたいです。ぜひともご検討をよろしくお願ひいたします。
メールにて(41歳・女性)

町の取り組みなどわかりやすくとても良かった。物価も上がり、子ども関連の出費も多く、以前のような金銭的支援も検討してくれるとすごく嬉しいです!
メールにて(34歳・女性)

ご意見をいただいた方には個別に
回答させていただいています。

【応募方法】

- ①クイズの答え ②住所 ③氏名(ふりがな) ④年齢 ⑤議会だよりを読んだ感想

を記入して、はがき・FAXまたはメールにてお送りください。議会だよりへの要望・意見等もありましたら、お願いいたします。

No.197のクイズの答え

押原中学校

【あて先】

- 〒409-3880 昭和町押越542-2 昭和町議会事務局「議会クイズ係」宛
- FAX:055-275-0370
- メール gikai@town.yamanashi-showa.lg.jp

《しめきり》8月末日 消印有効



議会 TOPICS



山梨中銀跡地を視察

6月22日、商工振興センターが入る予定の山梨中央銀行昭和支店跡地(西条二区)を視察しました。当局からも副町長や総務課長などが説明のために来られ、参加した議員は商工振興センターの設置について積極的に質問をしました。



町村議会表彰等を受賞

全国町村議会議長会から昭和町議会が町村議会表彰をいただきました。また、当議会の石原高明議員が特別功労者表彰を受賞し、河住保茂議員並びに前議員の樋口敏夫氏及び田中博愛氏が自治功労者表彰を受賞しました。



議会の動き(一部掲載)

- 4月 6日(木) 全員協議会
- 12日(水) 広報編集常任委員会
- 23日(月) 広報編集常任委員会
- 23日(月) 昭和町議会議員選挙
- 24日(月) 当選証書付与式
- 議員説明会
- 5月 2日(火) 議員懇談会
- 8日(月)~11日(木) 令和5年第1回臨時会
- 11日(木) 春の交通安全運動街頭指導
- 18日(木) 退任議員感謝状贈呈式
- 23日(火)~24日(水) 町村議長副議長全国研修会
- 25日(木) 全員協議会
- 26日(金) 広報編集常任委員会
- 26日(金) 町村議会議員研修会
- 自治功労者表彰式
- 29日(月) 議会運営委員会
- 6月 5日(月)~13日(火) 令和5年第2回定例会(6月議会)
- 19日(月) 広報編集常任委員会
- 19日(月) 広報編集常任委員会
- 22日(木) 全員協議会



◀昭和町議会の全日程表はこちら



上河東二区

芳賀

光久さん

住みよい町・昭和町

結婚を機に昭和町に住み間もなく31年になります。

家内の実家に同居させてもらい3人の子供を授かりました。15年前に上河東二区に移り住み、子育てを無事に終了しようとしています。子供が生まれてから成人するまで充実した教育、健康、福祉施策で町には大変お世話になりました。

昭和町に住んでいることで、他の市町村の方から羨ましがられることが多く、改めて財政の豊かさや田園風景を生かしたまちづくりの素晴らしさを実感しています。反面、この財政の豊かさがいつまで続くのか今の社会情勢を思うと非常に不安になります。

議員のみなさんには、この豊かな町が続くよう現状に甘んじることなく建設的な意見を議会であたかかせてもらいたいと願っています。

最後に町の行政に係るすべての方々のご苦勞に感謝し、今まで町のことに協力できていなかったのも微力ながら町の将来のため協力していきたいと思っています。



西条一区

伊藤

仁朗さん

人に優しいまち「昭和町」へ

私が昭和町にすみ始めた頃は、実家（栃木県日光市）に似た少し田舎の雰囲気があり、長閑で住みやすい町という印象でした。

それから時を置かずして、急速に開発が進み新しい商業施設や、様々な業種の店舗も増えてきました。空き地や田畑が宅地として売り出され、至る所に住宅メーカーの幟旗を目にするようになりました。

新しく造成された住宅エリアでは、若い世代の家族同士のコミュニティが生まれています。庭先で元気に遊ぶこの子ども達に、将来の昭和町を担ってもらうためにもまずは、子どもの命と安全を守る町づくりが必要かと思えます。

歩道やスクールゾーンの見直し、公園や児童館の充実、不審者からの見守り、心のケアなど早急に取り組んでもらいたい課題です。

町全体で大切に子ども達を育んでいくことで、人に優しいまち「昭和町」の発展があると私は信じております。

編集後記

令和5年度から議会だより「しょうわ」の広報委員6名中5名が新人になりました。慣れないながらも、町民の方と議会の橋渡しとして努力して参ります。

広報編集常任委員長
泉 敏弘



広報編集常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 泉 敏弘 |
| 副委員長 | 長田 信夫 |
| 委員 | 今井 幸広 |
| | 保坂 正男 |
| | 澤田 敏弘 |
| | 井口 信夫 |

議会を傍聴しませんか??



次回定例会は

9月1日(金)

開催予定です

【お問い合わせ】

☎275-8842(議会事務局)

